



Washington Japanese Language School
ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

2024年2月17日発行 第35号

ワシントン日本語学校

[ワシントン日本語学校事務局]

HOT LINE (301)962-7415

TEL (301)962-7410

FAX (301)962-7411



いのち 「生命の安全教育」

校長 三原 洋一

日本では、「性犯罪・性暴力対策強化のための関係府省会議」（令和2年6月）において、「性犯罪・性暴力は、被害者の尊厳を著しく傷つける重大な人権侵害であり、決して許されないこと」（「性犯罪・性暴力対策の強化」に関する橋本聖子内閣府特命担当大臣

（男女共同参画）メッセージより）として、性犯罪・性暴力の根絶に向けた取組や被害者支援を強化していく方針「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」が決定されました。

この方針を受け、子供が性暴力の加害者や被害者、傍観者にならないよう「生命（いのち）の安全教育」を全国の園や学校にて、令和3年4月より、文部科学省から教材・手引きが発表され、段階的に進められることになりました。このことを受けて、令和5年からは日本の全国の学校で本格的に取り組みが始まりましたので、保護者の皆様にお知らせいたします。

「生命の安全教育」とは、

生命の尊さを学び、性暴力の根底にある誤った認識や行動、また、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で、生命を大切にする考えや、自分や相手、一人ひとりを尊重する態度等を発達段階に応じて身につけることを目指すものです。

「生命の安全教育」の内容

生命の安全教育の内容は、性犯罪・性暴力を防ぐために必要な「自分・相手の身体を大切にすること」「性暴力が起きないようにするための考え方・態度」「性暴力の被害にあったときの対応方法」を中心に学びます。

子どもたちが、体や性に興味をもつのはごく自然なことです。本校は、幼稚園児から高校生まで、幅広い年齢層の子どもがいますが、性を恥ずかしいもの、怖いもの、と感じないようにポジティブなメッセージを伝えつつ、性暴力などに対して、自分の体を守ること、無意識に誰かを傷つけてしまわないための知識を、発達段階に応じて伝えることはとても重要なことです。



教材は、幼児期、小学校低学年・中学年、小学校高学年、中学校、高校、高校（卒業直前）・大学・一般に分けられ、年齢に応じて伝えておきたい「性暴力の加害者、被害者、

米国日本通運株式会社は2022年1月より、
社名を**NXアメリカ株式会社**へ変更致しました。



帰国の際の引越はNXアメリカにお任せください

お問い合わせ、お申込みはNXアメリカ ワシントン営業所まで

TEL: (703)-661-8326 (日本語ダイヤル)

URL: <http://www.nittsu.com/hikkoshi>



傍観者にならない」ための知識がイラストで書かれています。

また、幼児・児童期・思春期それぞれの年齢に応じた幅広い性のテーマを発信しています。これを機会に、ぜひ各ご家庭で、プライベートゾーンやデートDV、また、からだや境界線のことなど話す時間をもってはいかがでしょうか。



文部科学省 HP より

今後、子どもたちを性暴力の当事者にならないために、生命の尊さを学び生命を大切にする指導、自分や相手、一人一人を尊重する指導を、機会を捉えて行ってまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



なお、「生命の安全教育」の内容等の詳細については、下記の文部科学省ウェブページをご参照ください。



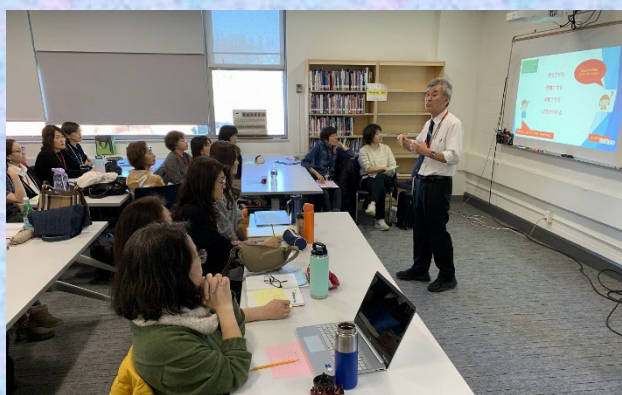
○ 文部科学省ウェブページ「生命（いのち）の安全教育」

https://www.mext.go.jp/a_menu/danjo/anzen/index2.html

本年度最後の校内研修を実施

2月3日に、「共働学習」に係る職員研修会を実施しました。授業研究を中心とした各教科での取組の成果と課題を、部会ごとに発表することで共有を図りました。

また、今回は猪股教頭が講師となり、「子どもの気持ちを動かす分かる授業・楽しい授業」と題して、学級経営についての研修も行いました。全員が熱心に研修に取り組み充実した研修会になりました。次年度の取組にしっかりと繋げていきたいと考えています。



おめでとうございます！

第44回海外子女文芸作品コンクール受賞者

○東京海上日動火災保険賞

中学部2年 田島 こはるさん

○特選

中学部1年 田中 詩乃さん

○優秀

小学部5年 ワイズ 凜生さん

○佳作

小学部2年 山中 慧樹さん

